

これまでの災害対応から見る主な論点

1 初動体制

- ・ 人的・物的応援の全体調整
- ・ 迅速な初動対応を図るための情報共有
- ・ 省庁間、実働部隊間、国と被災自治体間の連携・調整(役割分担、協力体制)

2 災害対応の仕組みづくり

- ・ 広域応援の仕組みづくり
- ・ 被災自治体の行政機能の補完
- ・ 省庁の枠を越えた防災・減災政策の立案
- ・ 大規模災害の同時発生も念頭に置いた組織の形成

3 ノウハウの蓄積

- ・ 過去の災害対応結果の分析とノウハウの蓄積
- ・ 災害対応のパターン化
- ・ 備えから復旧・復興までを念頭に置いた事前対策シナリオづくり
- ・ 多様な機関で行われている学術研究成果の共有と活用

4 人材育成・確保

- ・ 防災のノウハウを有する職員の育成・確保
- ・ 防災・減災分野に関する多様なニーズに対応できる人材の確保
- ・ 人材育成・確保のための研修拠点や教育機関の充実